



鳥労基発1204第3号
平成29年12月4日

関係団体の長 殿

鳥取労働局労働基準部長



冬季における積雪・凍結による転倒災害の防止について

時下、貴団体におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、労働基準行政の推進につきましては、平素から格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、鳥取県における休業4日以上労働災害は10月末現在で392件と昨年同時期に比べ62件の増加となっており、その内、転倒災害によるものは105件（昨年同時期26件増）と労働災害全体の約27%を占めており、転倒災害の約半数が通路や階段などを歩行中に転倒している状況です。

また、冬季においては、積雪・凍結による転倒災害が多く発生しており、平成25年から同27年までの発生状況では、その占有割合は約8%であったものが、平成28年には約11%、平成29年では約27%と急増しています。

鳥取労働局では、この度、積雪・凍結による転倒災害を防止するためのリーフレット（別添）を作成しましたので、貴団体の会員事業場等へ配付するなど周知いただき、転倒災害を防止する取組みに御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、このリーフレットについては、後日、当労働局ホームページへ掲載（下記参照）しますので、御活用ください。

《鳥取労働局ホームページの掲載場所》

【掲載場所1】

トップページの新着情報に「STOP!冬季の転倒災害リーフレットを掲載しました」として掲載します。

【掲載場所2】:

各種法令・制度・手続き▼安全衛生関係「災害防止対策」「転倒災害防止対策」のところに、STOP!冬季の転倒災害(2017年12月)という標題を設置します。



冬季の

STOP! 転倒災害

～ 積雪・凍結による転倒災害の防止 ～

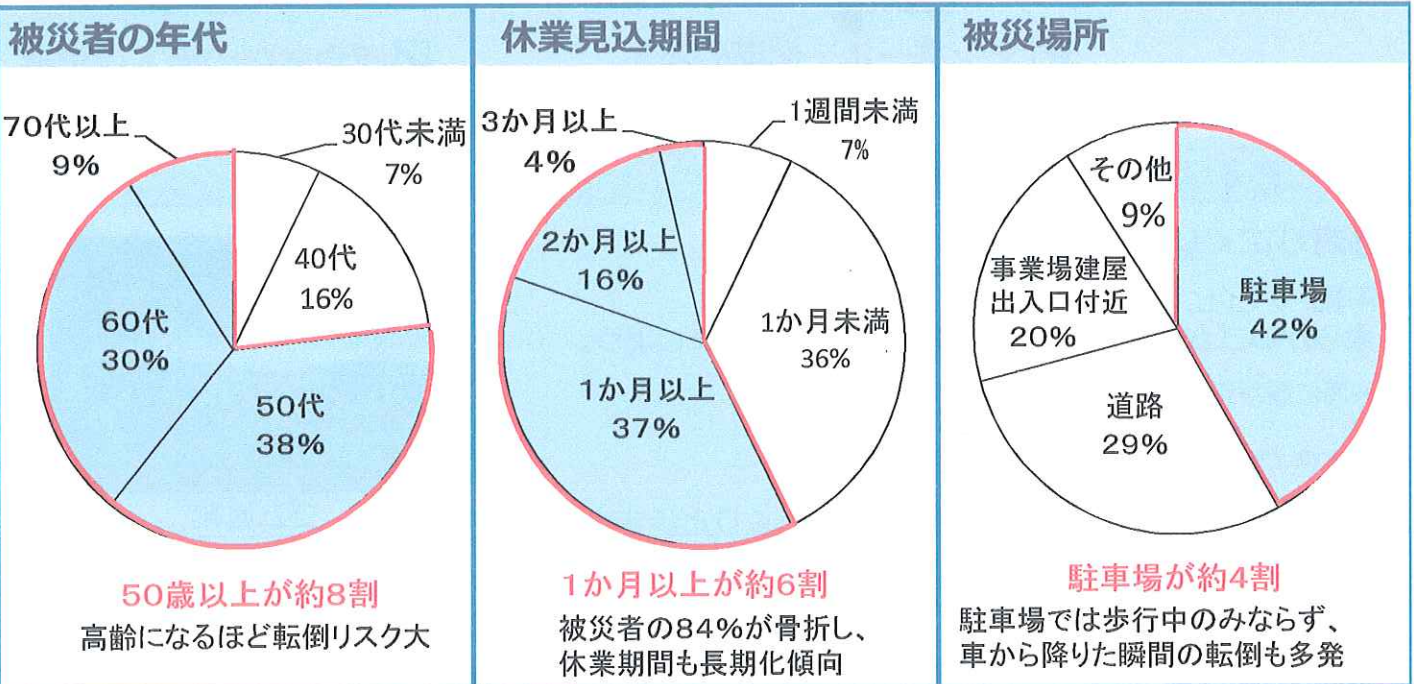
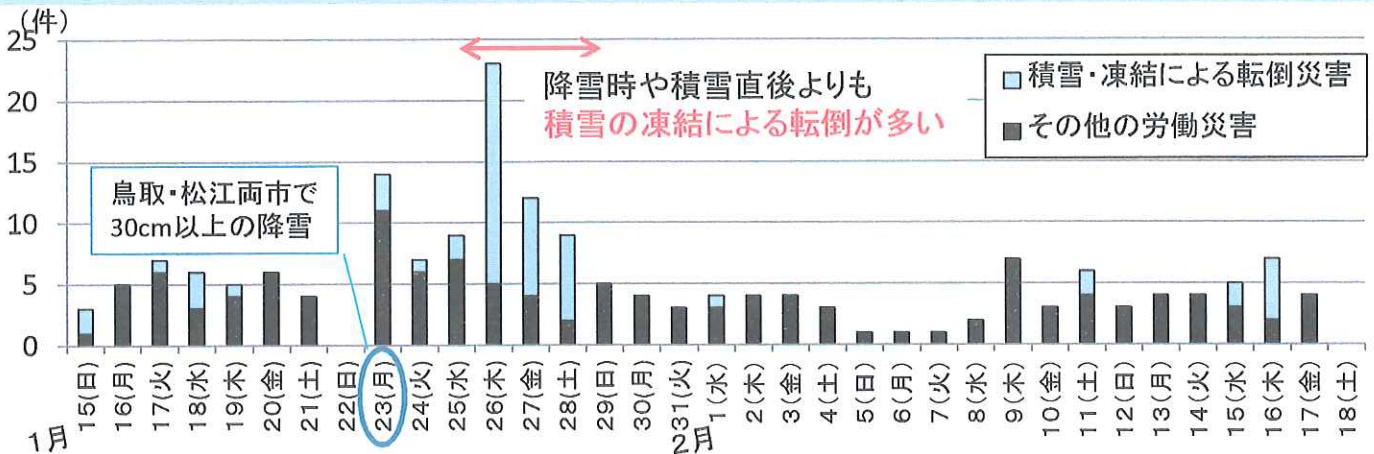
昨冬、鳥取・島根両県では、積雪・凍結に起因する休業4日以上^{の労働災害}が78件発生しました。このうち56件（72%）が転倒災害で、特に1月23日からの大雪後に多発しました。

今冬も、山陰では雪が降りやすく、年末年始にかけて大雪との予報もあります。

皆様におかれましては、積雪・凍結に起因する転倒災害の防止に万全を期していただきますよう、お願いいたします。

積雪・凍結による転倒災害発生状況

鳥取・島根における労働災害発生状況（H29 1/15～2/18・休業4日以上）



事業場で取り組む転倒対策

今すぐ	降雪・寒波予報時	積雪時
<p>❑凍結危険箇所の把握 雪が踏み固められて凍結しやすい駐車場、屋外通路、建物出入口など事業場敷地内の危険箇所を把握しましょう</p> <p>❑凍結危険箇所の見える化 把握した危険箇所は表示や危険マップで「見える化」をしましょう</p>	<p>❑通勤・帰宅への配慮 労働者が安全に出勤・帰宅できることを優先し、必要に応じて勤務時間を柔軟に変更しましょう</p> <p>❑転倒防止マットの設置 建物出入口には雪や水分を拭き取るためのマットを設置しましょう</p>	<p>❑危険箇所の凍結防止 把握した事業場敷地・建屋内の危険箇所の除雪、凍結防止対策（融雪剤、砂の散布等）を徹底しましょう</p> <p>❑4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底 建物内出入口付近や通路等の水濡れはすぐに拭きましょう</p>

通勤・下山時の転倒対策

STEP 1 転びやすい場所を知る

徒歩であっても油断は禁物。以下の場所では雪が踏み固められ、特に滑りやすくなります。

❑横断歩道

白線は氷の膜ができやすいので歩かない



❑バスの乗降場所

乗降は手すりにつかまり慎重に



❑マンホール・側溝のふた

きちんと足元を見て回避！

❑駅やお店の出入口付近

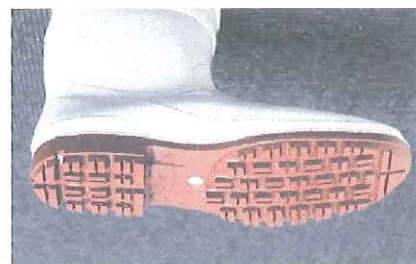
建物内外の出入口付近は転倒多発地帯

STEP 2 転びにくい歩き方を知る

❑滑りにくい靴をはく

革靴、ハイヒールは危険です。
柔らかいゴム底や、溝の深い靴（※）を着用しましょう。

※溝に雪が詰まると滑るので注意！



ゴム底靴

❑小さな歩幅でゆっくり歩く

小さな歩幅で、足の裏全体で着地し、ゆっくりと歩きましょう。
そのためには時間に余裕をもった行動が不可欠です。

❑両手はあける

ポケットに手を入れたり、両手に物を持っていると、バランスを崩しやすく、転倒時に受け身がとれません。手袋を着用すれば転倒時の手の保護にもなります。